

インタビュー 海外赴任者のお子さんの教育相談窓口

海外子女教育振興財団では、海外子女・帰国子女教育専門の教育アドバイザーが、出国前・滞在中・帰国後までお子さんの教育に関する相談におこたえしている。

公益財団法人 海外子女教育振興財団
教育アドバイザー 友部政勝 さん

出国前・滞在中・帰国後まで

—— 海外赴任者向けにどのような教育支援を？

公益財団法人 海外子女教育振興財団(JOES)の設立は1971年、すでに50年以上の歴史があります。主な事業は、教育相談、教育情報提供、教科書配付、渡航前教室、日本人学校・補習授業校等への支援などです。

JOESの活動の大きな柱の1つが教育相談です。海外子女・帰国子女教育専門の教育アドバイザーが出国前・滞在中・帰国後まで、お子さんの教育に関する全ての相談におこたえしています。教育アドバイザーは14人常駐しており、年間約2千件の教育相談を受けております。

—— 教育アドバイザーを務めるのはどのような人たちですか。

在外教育施設(日本人学校・補習授業校)の管理職経験者や企業の教育相談室勤務、また、帰国子女受け入れ校の勤務経験者などで構成されています。

お子さんへの励ましと支援の大切さ

—— どんな相談が多いのですか。

赴任前と赴任中、帰任後で内容は異なります。国・地域によっても違います。

中高生のお子さんをもつご家庭では、お子さんを帯同するかどうか悩まれます。大事なことはお子さん本人の気持ちがどうかということです。家族で十分話し合い、全員が納得し決定す

ることが大切です。

現地校やインターナショナルスクールへ行っている場合は、日本の学習の進め方。現地と日本の勉強を両立させるにはどうしたらよいか。現地校やインターナショナルスクー



ルヘスムーズに適応するための方法を教えてほしいなど、様々です。

私自身パキスタンへの赴任時は、情報が少なく不安でした。今はネットで簡単に調べられますが、調べれば調べるほど、様々な情報が交錯し不安や心配事は増えているように感じます。そんな相談者から「不安が消えました」「気持ち晴れました」などと言われるとうれしいですね。

—— 最近、相談内容に変化は見られますか？

時代は変わったと感じるのは、お父さん、お母さんが、同じように熱心に教育に関わるご家庭が増えたことかなと思います。

海外では、特にご両親が共に子育てに関与していくことがとても重要になります。日本人学校に通学されているお子さんに対しては、自宅と日本人学校の往復、遊ぶのは日本人学校の友達だけということがないように、現地の文化や伝統、現地の人々との交流などを計画的に進めていけるよう支援していくことが大切です。現地ではかできないことを体験させ、お子さんの心の引き出しを増やすことはご両親の大事な役